

門川市長に予算要望を提出



魅力があり誇れる
強い京都市をともに

自由民主党京都市会議員団は、市民から最も多くの信任を受けた党派として、11行政区の様々な地域における市民ニーズにこたえ得る内容を含んだ平成29年度予算及び今後の施政方針並びに運営に対する要望を、門川市長に提出しました。我々の門川市政に対する評価と提言を十分に受け止めた上で、それを具体的な取組・姿勢に反映されるよう強く願うとともに、「二元代表制の一翼として、行政当局と爽やかな緊張関係を保ちつつ、次代の社会への責任をもって議論を重ね、次世代にとっても魅力あり誇れる強い京都市をともに創ってまいります」の覚悟です。

文化庁の京都への
全面移転の決定を契機

この度の文化庁の京都への全面移転の決定を契機とし、京都の持つ風土と、その歴史的、文化的な価値を守り活かすために、「国家戦略としての京都創生」の実現に引き続き積極的に取り組む、また京都が誇る優れた文化力、歴史力、地域力、さらには人間力を最大限に活かし、より多くの市民理解のもと、参加と協働によって東京一極集中を打破し、人口減少社会に挑戦する施策を、確実に実施することが必要であります。

この道を。力強く、前へ。
アベノミクスを二層加速

本年7月の参議院議員選挙において、安倍晋三首相は「この道を。力強く、前へ」と現政権の政策について、国民の信を問ひ、結果、連立与党で70議席と過半数を大きく上回る議席を獲得し、「アベノミクスを二層加速せよ」と、多くの国民の皆様から、力強い信任を頂きました。今こそ安定した政治基盤の下、総合的かつ大胆な経済対策を打ち、デフレからの脱却、日本経済の再生を図ってまいります。

平成27年度の全会計の歳出決算は 1兆6,365億4,500万円に。

27年度決算全会計の歳出決算規模	
一般会計	7,261億 1,900万円
特別会計	6,709億 3,700万円
公営企業会計	2,394億 8,900万円
全会計合計	1兆6,365億4,500万円

一般会計決算規模	
歳入総額	7,305億 8,900万円
歳出総額	7,261億 1,900万円
歳入歳出差引額	44億 7,000万円
翌年度に繰り越すべき財源 (繰越事業費-未収入特定財源) (163億9,600万円-138億3,500万円)	25億 6,100万円
実質収支	19億900万円
単年度収支	△2億900万円

特別会計 歳出決算規模	
国民健康保険事業	1,743億 9,100万円
介護保険事業	1,228億 9,800万円
後期高齢者医療	168億 4,600万円
市公債	3,381億 4,400万円
その他	186億 5,900万円
特別会計合計	6,709億3,700万円

公営企業会計 歳出決算規模	
水道事業	553億 4,400万円
公共下水道事業	912億 3,600万円
自動車運送事業	212億円
高速鉄道事業	717億 800万円
公営企業会計合計	2,394億8,900万円

※百万未満を端数処理しているため、合計の一致しない箇所があります。

保育利用におけるポイント制の見直し

- 保育士等の子どもの優先入園に係るポイント新設10点
- 同指数となった場合における第一希望の保育施設・事業所の優先入園ポイント新設1点
- ひとり親世帯の調整指数の点数見直し4点→5点



3年連続国基準の待機児童解消は達成されたが、多様な保育ニーズの高まりはとどまることが無く、今後もあらゆるケースに対応していきます。そのためにもハード面である施設の増改築やソフト面での定員増等に対応するため、今回保育園に勤める保育士等の就業支援を行い、受け入れ体制の充実を行いました。



市バス・地下鉄 ともに増収・増客!

- 市バス** 15年度以降黒字を確保 25年度には累積欠損金を解消 経常黒字24億円に!
- 地下鉄** 27年度1日あたりでは200万円の黒字 18年度は1日あたり4,600万円の赤字 経常黒字8億円に!

主要事項 市バスでは便利で快適な路線・ダイヤの編成(27年3月実施) 地下鉄では駅ナカビジネスの積極的展開

決算上は黒字となりましたが、一般会計からの補助金や繰入れに頼らない、自立した経営に向けて、更なる努力を求めています!

決算特別委員会での主な質疑内容(一部抜粋)

決算特別委員会第一分科会

(環境政策局、行財政局、総合企画局、文化市民局、産業観光局、会計室、選挙管理委員会事務局、監査事務局、人事委員会事務局、市会事務局、その他)

- ネーミングライツの導入に当たって議会の関与など議会や市民の理解を得て進める考え
- 所有権にとらわれないことと広域にわたり取組を進めるなど林業の在り方を根本的に見直す必要性
- 本市にある京都刑務所等の国有地活用に向けた取組
- 東京オリンピック・パラリンピックや文化庁移転を踏まえた文化行政に係る今後の取組
- 西京区・洛西地域の新たな活性化懇談会で出された「定住」に関する意見
- 担い手の確保に向け農業が収入につながるよう意欲のある農家への支援を手厚くする必要性
- 里山減少に歯止めを掛ける対策の必要性についての認識
- 第4次きょうと男女共同参画推進プランによるこれまでの取組と成果
- 利用者に歴史的価値を伝える文化財活用の検討
- 有料指定袋の価格設定の考え方とごみ減量を意識した価格設定の適宜見直しの必要性

決算特別委員会第二分科会

(保健福祉局、都市計画局、建設局、教育委員会事務局)

- 地元の子どもが地元の保育園(所)に優先的に入れる仕組みの検討及び2歳児までの保育士加配の検討
- 民泊に対する本市の基本的な考え方と旅館業法等の許可のない民泊に対して営業停止などの厳しい措置を採る必要性
- 洛西ニュータウンの4箇所の会館の利用率及び利用料下げや駐車場整備等の利用率向上策の検討
- 市街地における今後の緑化の取組予定と危険木等への対応を造園組合と連携して行う必要性
- 薬物乱用防止策における警察連携やインターネットの有害情報から子どもを守る取組並びに学校生活管理指導票の保護者理解度
- 重要性が高まっている就学前教育の充実と今後の取組、家庭での教育力向上に向けた方策に対する見解
- 西院駅バリアフリー化事業において阪急西院駅西側改札口前の歩道拡幅、段差解消及び歩道上の上屋の設置

決算特別委員会第三分科会

(消防局、交通局、上下水道局)

- 聴覚障がい者等に対する消防救急の緊急通報システム(京都市Web119)を、外国人観光客が利用できる環境構築の必要性
- 消防団活動に与える影響が大きい消防団総査閲実施方法の改善
- 消防団員の自己研鑽や消防団への入団促進につなげるために、団員が主体となって消防団防災ハイスクールを実施する考え
- 市バスのラッピングを廃止し、車体の色を統一することの検討
- 観光シーズンにおける東大路通を運行する市バスの増便の検討
- 京都駅南口駅前広場整備に合わせた市バスの路線・ダイヤの充実
- 地下鉄烏丸線の可動式ホーム柵の増設の必要性
- より快適なバス待ち環境に向け京都駅バス乗り場にドライミストを増設する要望
- 雨水貯留施設設置助成の対象に設置工事費も含めるべきとの指摘
- 浸水被害が頻発する伏見区の地域特性を踏まえて早急に変更する対策を実施する必要性



私たち自民党市会議員団に
皆様のご意見やご要望をお寄せください。

自民党
京都市会議員団



TEL 075-222-3718 FAX 075-257-3091
〒604-8571 京都市中京区河原町御池上ル
http://jimin-kyoto.jp/ Eメール jimin3@nifty.com